



新年度のご挨拶

4月1日より新年度がスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響により、様々な面で例年のない春を迎えました。皆様におかれましても、不安な日々を過ごされていることとお察し致します。小千谷さくら病院周辺の桜の花も今年は少し寂しく感じております。

このような状況ではありますが、平成13年に国立療養所から経営移譲され誕生した小千谷さくら病院も、早いもので20年目となります。今まで患者様・ご家族様・地域の方々に多くのご支援をいただいたことに感謝申し上げます。そして20年目の春、新たにフレッシュな入職者を迎えることができました。異動で来られた職員や、社会人としての第一歩を踏み出す新人もおりますが、初心を忘れず夢や目標に向かって日々努力を重ね、立派な専門職業人となることを期待しております。

病院全体としては、山崎院長を先頭にユマニチュードや摂食嚥下障害の予防に努めていきたいと思っております。関わりを深くし、患者様が自分自身で動くことができ、ずっとおいしいものが食べられる。また、寝たきりになられた方にも楽しみのある療養環境が提供できるよう、組織全体で取り組んでいきたいと考えております。

看護界においては、2020年は看護の祖であるナイチンゲールの生誕200年という年です。クリミア戦争において、野戦病院の環境を整備し、コレラ患者の致死率を40%から2%に低下させたと云われています。著書「看護覚え書き」の中には、人の生命力を上げるためには、第一に「きれいな空気＝換気」が重要であり、更に「清潔な水・衣服・寝具」「栄養のある食事」「騒音の無い静かな空間」などが重要だと書かれています。我々も今一度看護の原点に戻り、看護を見つめ直していきたいと思っております。そして新入職員とともに、改めて専門職業人としての意識が高まるよう、職員一同精進してまいります。

最後に、新型コロナウイルスによる面会制限等の対応におきましては、御心配、御迷惑をお掛けしております。終息がみえず、長期に及ぶ可能性があります。感染拡大をさせないよう、安全で安心な環境づくりのため、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

看護部長 大谷 勉



小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

新採用職員の紹介



4月から2病棟の看護師として働いています。小千谷市出身です。趣味は旅行、スポーツ、ゲームなどです。

入職して約2カ月経ちますが優しい先輩方に恵まれ、成長の日々です。たくさん学び、思いやりのある看護をしていきたいです。これからよろしくお願いします。

【看護師 片山 美愛 (かたやま みのり)】



子供の頃看護師になりたかった気持ちが諦められず、最後のチャンスと思い、一念発起してこの春に念願の看護師となりました。

好きなものは科捜研の女、鈴木雅之、動物などで、好きな四字熟語は晴耕雨読です。皆さま宜しくお願い致します。

【看護師 松田 珠子 (まつだ たまこ)】



今年の4月より放射線技師として働かせていただいています。地元は長岡ですが以前は山梨県にある病院で働いていました。装置や業務など以前と変わった所も多いので早く慣れてお役に立てる様に頑張りたいです。

一人暮らしをしているのでおいしいお店などあれば教えてください。よろしくお願いします。

【診療放射線技師 笠井 義弘 (かさい よしひろ)】



さくら病院で昨年7月から2病棟でお世話になっています。新人の頃、当院がまだ国立病院だった時代に4年間働いた経験があります。懐かしい病院でまた働くことができて光栄に思います。患者様が安心して療養生活を送れる看護を目指してがんばりますので今後ともよろしくお願いいたします。

【看護師 渡邊 薫 (わたなべ かおり)】



3月18日から2病棟で勤務しています。出身は上越市ですが、約1年半前に長岡市へ引っ越してきました。趣味は音楽で、聴くのも演奏するのも好きです。

今までに総合病院や精神科病院で働いてきました。脳神経内科病棟での勤務は久しぶりですが、少しずつ感覚を取り戻しながら慣れていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【看護師 堀本 舞 (ほりもと まい)】



昨年6月から1病棟で働かせて頂いています。

前職は、介護老人保健施設に勤務しておりました。施設と病院との違いに戸惑ったり、まだまだわからない事も多く、皆様にはご迷惑をお掛けしていますが、笑顔で楽しく仕事をしたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

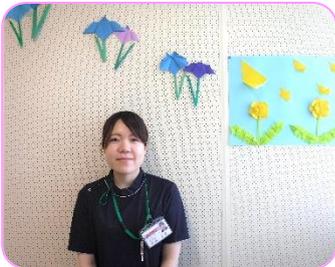
【介護福祉士 関崎 宏幸 (せきざき ひろゆき)】



結婚の為、新潟へ来て約1年が経ちました。小千谷は食べ物や水が美味しく、ちょっとお腹が出てしまいました（笑）

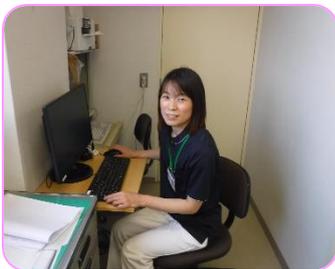
趣味は旅行で、九州、沖縄以外をバイクで走り回っていました。不慣れで至らない点も多いですが、初心を忘れず、患者様の笑顔を大切に精一杯頑張ります。皆様よろしくお願ひします。

【介護福祉士 小澤 智人（おざわ ともひと）】



今年の3月より勤務しております。入職前は新潟市の急性期・回復期病院で働いており、この度、地元近くの小千谷に戻ってきました。経験したことのない分野であり、不慣れで至らない点も多いと思いますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

【言語聴覚士 佐藤 有美（さとう ゆみ）】



昨年の6月から勤務しております。今までは銀行・中学校・大学で仕事をしていました。写真を撮ることとラーメンが好きです。病院での仕事では初めてのことばかりで皆さんにご迷惑をおかけすることが多いですが、早く一人前になれるように頑張りたいと思います。

【リハビリクラーク 山崎 厚子（やまざき あつこ）】



1月から勤務させていただいております。

以前は市内の調剤薬局に勤めていた為、病院での勤務は初めてです。少しずつ慣れてきましたが、まだわからないことも多く、周りの方々から助けていただき日々仕事を覚えています。

仕事以外では子育てに追われる毎日ですが、体を動かすことが好きなので、趣味にランニングやテニスなどをして体づくりをしています。

【薬剤助手 堀澤 直美（ほりさわ なおみ）】



はじめまして。こぶし園から異動にて4月から1病棟に配属になりました。病院勤務は初めてでわからない事も多く、先輩方や患者様にご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、一生懸命頑張っって早く仕事を覚えたいと思います。

宜しくお願ひ致します。

【介護福祉士 石坂 絵里香（いしざか えりか）】



4月1日から、老健ぶんすいから小千谷さくら病院に異動となりました。異動前はノーリフティングケアや骨粗しょう症、訪問リハビリ関係の勉強などを頑張ってきました。施設で学んだことを当院で活かせるように頑張っっていきたく思います。

趣味は温泉と猫です。

【作業療法士 井ノ川 航（いのかわ わたる）】

新型コロナウイルス感染症によって

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、多数の感染者や死亡者の状況が連日メディアで流れています。

日本国内に於いても「緊急事態宣言」が発令され、未だに収束が見えない状況の中、外出自粛要請により学校の入学式、新学期の開始の延期、春・夏の甲子園や高校生・中学生の各種大会等が中止となるなど、あらゆるイベントが中止や延期に追い込まれ、今までの日常生活では想像できなかったことが現実として起こっています。

その影響は当法人も例外ではなく、グループ法人全体の入職式を皮切りに、毎年3月に行われていた学会、各種研修会の中止により学びの機会が減少するほか、各種会議等の中止で今後の計画に支障をきたしています。

当院に於いても職員へ「コロ対ニュース」を発行し、日常生活での感染管理の徹底を促すほか、感染委員会の研修で学んだ「マスク着用・手洗い・手指消毒」の更なる励行を行い「持ち込まない」を重視した。また、院内感染防止のため3月下旬から「面会禁止」を行うこととした。「面会制限」では、他県の福祉施設で家族の反対があり「面会禁止」を行うことが出来なかった為、クラスター発生に繋がった事例がニュースで報告されていました。

幸い当院では、ご家族様の御理解・ご協力により感染発生が確認されなかった事に感謝申し上げます。

「面会制限」については、新潟県の緊急事態宣言の解除を受け、5月18日より緩和の運びとなりましたが、ご面会の方には、現行とおりマスクの着用・手指消毒のほかに、外来受付で『問診票の記入』、『検温』、を行い、『面会時間の制限（10分程度）』、『面会人数の少数化（1～2名、子供不可）』をお願い致します。

なお、今後近隣地域の感染状況により、予告・通知なく再度「面会禁止」の対応を行う事となりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

今後も患者様やご家族、地域の方に信頼され、愛される病院づくりに取り組んでまいります。

事務長 中山 克成

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するために外出等の自粛が続き、自宅での過ごし方を色々工夫されていた方も多いのではないのでしょうか。わが家の場合は、息子と身体を動かしたり娘とお菓子を作ったり家の中を片づけたりとなるべく暗い気持ちにならないように気をつけて過ごしていました。家にいる時間が長かったので昼食後のお昼寝がすっかり習慣になってしまいました。

先日、新潟県は緊急事態宣言が解除となり外出自粛も解除となりましたが、手洗いやマスクでの感染予防の必要はまだまだ続きそうです。どうか皆様もご自愛ください。（山崎 記）



社会福祉法人長岡福祉協会
小千谷さくら病院

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地
電話(代表) 0258-83-2680
FAX 0258-83-4416
URL <http://www.sakurahp.com>
E-mail info-01@sakurahp.com
広報委員 中山 克成・風間 麻代・覺張 正樹
下村 健・山崎 厚子・伊佐 純子